

⑥観光

■具体的な施策等

- 復興ツーリズムなど地域資源を活かした被災地における交流の推進
- 観光振興
- 国立公園の創設を核としたグリーン復興

復興ツーリズムなど地域資源を活かした被災地における交流の推進					
「東日本大震災からの復興の基本方針」における該当箇所					府省名
章	5 復興施策				農林水産省
節	(3)	(3)	(3)	(3)	
項	③	③	⑥	⑥	作成年月
目	(iii)-(ハ)	(vi)	(ii)	(iii)	平成 24 年4月
これまでの取組み					
<p>○ 東日本大震災後、平成 23 年度に創設した「食と地域の交流促進対策交付金」を活用し、農業経営の多角化などに向け、豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムなどの取組を支援。</p> <p>また、平成 23 年度第3次補正予算において「食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業」を創設し、復興ツーリズムなどの取組を被災地の約 110 地区で推進するとともに、「ふるさとふれあいプロジェクト」を展開し、ボランティア希望者のニーズと被災農山漁村におけるニーズとのマッチングを実施。</p>					
当面(今年度中)の取組み					
<p>○ 引き続き、「食と地域の交流促進対策交付金」による豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムなどの取組への支援や、「ふるさとふれあいプロジェクト」を通じたボランティア希望者と農山漁村のニーズとのマッチングの取組の支援を予定。</p>					
中・長期的(3年程度)取組み					
<p>○ 農業経営の多角化などに向け、豊かな地域資源を活かした復興ツーリズムやグリーン・ツーリズムなどの取組を支援するとともに、国民各層による農山漁村におけるボランティア参加を促進するため、ボランティア希望者と農山漁村におけるニーズのマッチングを支援し、『人と人との絆』を拡げていく方針。</p>					
期待される効果・達成すべき目標					
<p>○ 「食と地域の絆づくり被災地緊急支援事業」全体で、平成 25 年度までに集落型の経済活動を 20 億円創出するとともに、平成 23 年度中にボランティア参加人数を4万人創出。</p>					
平成 24 年度予算における予算措置状況					
<p>○ 食と地域の交流促進対策交付金 1,364 百万円 農山漁村ふるさと応援推進事業 40 百万円</p>					

観光振興		
「東日本大震災からの復興の基本方針」における該当箇所		府省名
章	5 復興施策	国土交通省
節	(3)地域経済活動の再生	
項	⑥観光	作成年月
目	(i)(ii)	平成24年4月
これまでの取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国からの訪日観光については、海外目線に立った情報発信に努め、海外メディアや旅行会社への働きかけの強化等を実施した。 ・国内観光については、国内旅行需要の喚起のための官民合同キャンペーンとして、各種媒体による広報・宣伝の強化、イベントへの協力等を実施した。 		
当面(今年度中)の取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広告宣伝、メディア・旅行会社招請等による徹底した風評被害対策に加え、海外現地での在外公館等との連携強化、大規模国際会議の開催時の機会の活用等による積極的なプロモーションを実施する。また、早期の需要回復とともにリピーターの増加のため外客受入環境の整備を引き続き促進する。 ・東北・北関東の訪日観光需要の回復のため、海外主要市場における風評被害の払拭と当該地域の観光復興のPR等の緊急対策を実施する。 ・東北地域の様々な取組を連携させ、統一的な情報発信を行う「東北観光博」や政府の関連事業の実施や民間のイベント等の開催の働きかけにより復興を支援する、東北・北関東への訪問運動を実施する。 ・地域の資源を活用した着地型商品を企画・販売する等、滞在型観光につながる持続的な取組みを活性化させていくため、様々な滞在型観光の取組みを推進し、市場との窓口機能等を担う「観光地域づくりプラットフォーム」の形成を推進しつつ、着地型商品の企画・販売、人材育成等を行う取組みを支援する。 		
中・長期的(3年程度)取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月30日に閣議決定した新たな観光立国推進基本計画に掲げた各種取組みを実施することにより、国内観光需要や訪日外国人の増加に取り組む。 		
期待される効果・達成すべき目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・東北・北関東を中心とした大震災により落ち込んでいる国内観光需要の回復。 ・国内旅行需要の喚起と新たな観光地づくりのモデルの構築。 ・大震災により大幅に落ち込んでいる訪日外客数の回復。 ・外客受入環境の整備により、満足度の向上によるリピーターの増加と宣伝効果による訪問の促進。 		

平成24年度予算における予算措置状況

- ・訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業) 4,927百万円
- ・東北・北関東インバウンド再生緊急対策事業 624百万円
- ・訪日外国人旅行者の受入環境整備事業 854百万円
- ・観光地域づくりプラットフォーム支援事業 300百万円
(うち復旧・復興枠54百万円(復興庁計上))
- ・広域連携観光復興対策事業(東北観光博) 250百万円(復興庁計上)
- ・災害時における訪日外国人旅行者に向けた情報提供のあり方に関する調査事業 30百万円

国立公園の創設を核としたグリーン復興				
「東日本大震災からの復興の基本方針」における該当箇所				府省名
章	5 復興施策			環境省
節	(3)	(3)	(4)	
項	⑥	⑪	⑥	作成年月
目	(ii)・(iii)		(ii)	平成24年4月
これまでの取組み				
<p>○ 三陸復興国立公園(仮称)の創設に向け、調査・情報収集、関係者との意見交換等を実施。また、「三陸地域の自然公園等を活用した復興の考え方」について、中央環境審議会より答申を受け、三陸復興国立公園(仮称)の基本理念等を取りまとめたビジョンを、平成23年度末に作成した。</p>				
当面(今年度中)の取組み				
<p>○ 三陸復興国立公園(仮称)の指定に向け、編入地域等に関する地元説明等の調整、公園計画案の策定、中央環境審議会への諮問等を行う。</p> <p>○ 三陸復興国立公園(仮称)の創設と並行し、陸中海岸国立公園の施設の復旧、エコツーリズムの推進、長距離自然歩道のルート設定、地震・津波災害の記録・教訓の収集・保存及び津波の影響を受けた自然環境の現況調査と経年変化状況のモニタリング等関連する取組を実施する。</p>				
中・長期的(3年程度)取組み				
<p>○ 調整状況に応じて、候補地域の三陸復興国立公園(仮称)への編入を進める。</p> <p>○ 三陸復興国立公園(仮称)の創設に関連する利用施設の整備、エコツーリズムの推進、長距離自然歩道の整備等の取組を実施する。</p>				
期待される効果・達成すべき目標				
<p>○期待される効果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「グリーン復興」をテーマとした、国立公園の創設を核とする総合的な取組の中で、観光業及び農林水産業の振興に寄与するとともに、自然と共生する社会を実現するための取組及び災害の記録と伝承を進めることで、復興に貢献する。 <p>○達成すべき目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三陸復興国立公園(仮称)の指定に係る審議会答申(平成24年度中) ・ 三陸復興国立公園(仮称)の適切な管理・運営(平成25年度以降) 				
平成24年度予算における予算措置状況				

- ・三陸復興国立公園再編成等推進事業費 200百万円【復興特会】
- ・陸中海岸国立公園等復旧事業 1,100百万円【復興特会】